



Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ コマンド

- 「server-group radius group」
- 「element ip-address (RADIUS サーバ グループ)」
- 「retransmit-count (RADIUS サーバ グループ)」
- 「retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)」
- 「show status server-group radius」

server-group radius group

RADIUS サーバ グループを設定し、RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードを開始するには、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **server-group radius group** コマンドを使用します。RADIUS サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

server-group radius group radius_server local-ipaddress

no server-group radius group radius_server local-ipaddress

構文の説明

radius_server	1 つの RADIUS サーバ グループ名を指定します。
<i>local-ipaddress</i>	プロキシ サーバが RADIUS メッセージを RADIUS サーバに送信するときに使用する、ローカル発信元 IP アドレスを指定します。ローカル IP アドレスは、グループを設定した後は変更できません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0 このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、RADIUS サーバ グループを作成します。サーバは、設定された RADIUS サーバを通じてロード バランス アカウンティング メッセージを送信できます。Acct-Session-ID が同じすべてのアカウンティング メッセージは、同じ RADIUS サーバに送られます。



(注)

Cisco Unified SIP Proxy 1.0 では、1 つの RADIUS サーバ グループだけを設定できます。

例

次の例では、RADIUS サーバ グループを作成する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group radius_server 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)>
```

次の例では、RADIUS サーバ グループを削除して、そのグループ内のすべての server-group 要素を削除します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> no server-group radius group radius_server 192.168.20.42
```

関連コマンド

コマンド	説明
element ip-address (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成し、その特性を決定します。
retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定します。
show status server-group radius	すべての RADIUS サーバ グループまたは単一の RADIUS サーバ グループのステータスを表示します。

element ip-address (RADIUS サーバ グループ)

RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成し、その特性を決定するには、RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードで **element ip-address** コマンドを使用します。IP 要素を RADIUS サーバ グループから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

element ip-address ip-address port shared-secret [q-value q-value]

no element ip-address ip-address port

構文の説明

<i>ip-address</i>	サーバ グループ要素のインターフェイス ホスト名または IP アドレスを指定します。
<i>port</i>	サーバ グループ要素で使用されるポートを指定します。有効な値は 1024 ~ 65535 です。デフォルト ポートは、アカウントティングの場合は 1813、認証や権限付与の場合は 1812 です。
<i>shared secret</i>	プロキシと RADIUS サーバ グループ要素の間の共有秘密キーを指定します。
q-value q-value	(オプション) サーバ グループ内の他の要素に対する、サーバ グループ要素のプライオリティを指定する実数を指定します。有効な値は 0.0 ~ 1.0 です。デフォルトは 1.0 です。

コマンド デフォルト

RADIUS サーバ グループの要素は設定されません。

コマンド モード

RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

例

次の例では、RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> element ip-address 10.1.2.3 1813 cusp-secret
```

次の例では、RADIUS サーバ グループから IP 要素を削除する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no element ip-address 10.1.2.3 1813
```

関連コマンド

コマンド	説明
retransmit-count (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信回数値を設定します。
retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定します。
server-group radius group	RADIUS サーバ グループを設定し、サーバ グループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

retransmit-count (RADIUS サーバグループ)

RADIUS サーバグループの再送信回数値を設定するには、Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション モードで **retransmit-count** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

retransmit-count *count*

no retransmit-count

構文の説明

count

RADIUS サーバに対する RADIUS 要求の許可される再試行回数を指定します。再試行回数が最大に達した後に、成功しなかった応答が RADIUS サーバから取得された場合、RADIUS サーバはアウトオブサービスであるとしてマークされます。デフォルト値は 3 です。

コマンド デフォルト

再試行回数は 3 回です。

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0

このコマンドが追加されました。

例

次の例では、再送信回数を 5 に設定する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> retransmit-count 5
```

次の例では、デフォルトの retransmit-count 値に戻す方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no retransmit-count
```

関連コマンド

コマンド	説明
element ip-address (RADIUS サーバグループ)	RADIUS サーバグループの IP 要素を作成し、その特性を決定します。
retransmit-timeout (RADIUS サーバグループ)	RADIUS サーバグループの再送信タイムアウト値を設定します。
server-group radius group	RADIUS サーバグループを設定し、サーバグループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)

RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定するには、Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードで **retransmit-time** コマンドを使用します。デフォルトの再送信タイムアウト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式または **default** 形式を使用します。

retransmit-timeout *timeout*

no retransmit-timeout

構文の説明

<i>timeout</i>	RADIUS サーバからの応答を待機できる最大時間数 (ミリ秒) を指定します。応答が受信されない場合、サーバを使用不可であると見なすまでに、サーバでは retransmit-count 値の回数まで要求を再実行します。デフォルト値は 500 です。
----------------	--

コマンド デフォルト

500 ミリ秒

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

例

次の例では、retransmit-timeout 値を 1000 に設定する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> retransmit-timeout 1000
```

次の例では、デフォルトの retransmit-timeout 値に戻す方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no retransmit-timeout
```

関連コマンド

コマンド	説明
element ip-address (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成し、その特性を決定します。
retransmit-count (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信回数値を設定します。
server-group radius group	RADIUS サーバ グループを設定し、サーバ グループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

show status server-group radius

すべての RADIUS サーバグループまたは単一の RADIUS サーバグループのステータスを表示するには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードで **show status server-group radius** コマンドを使用します。

show status server-group radius [*server-group-name*]

構文の説明

server-group-name (オプション) 単一の RADIUS サーバグループのステータスを表示します。

コマンドモード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0 このコマンドが追加されました。

例

次の例は、**show status server-group radius** コマンドの出力例です。

```
se-10.0.0.0 (cusp) > show status server-group radius rgl
```

```
Servergroup: radius_server
Address          Secret          Q-Value  Status
192.168.20.6:1813  cusp-secret    1.0      up
192.168.20.7:1813  cusp-secret    1.0      up
se-192-168-20-42 (cusp) >
```

表 6 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 6 show status server-group radius のフィールドの説明

フィールド	説明
Servergroup	RADIUS サーバグループの名前を表示します。
Q-Value	サーバグループ内の他の要素に対する、サーバグループ要素のプライオリティを指定する実数です。
Status	RADIUS サーバグループの動作ステータスを表示します。

関連コマンド

コマンド	説明
show status server-group sip	すべての SIP サーバグループのステータス、または単一の SIP サーバグループを表示します。